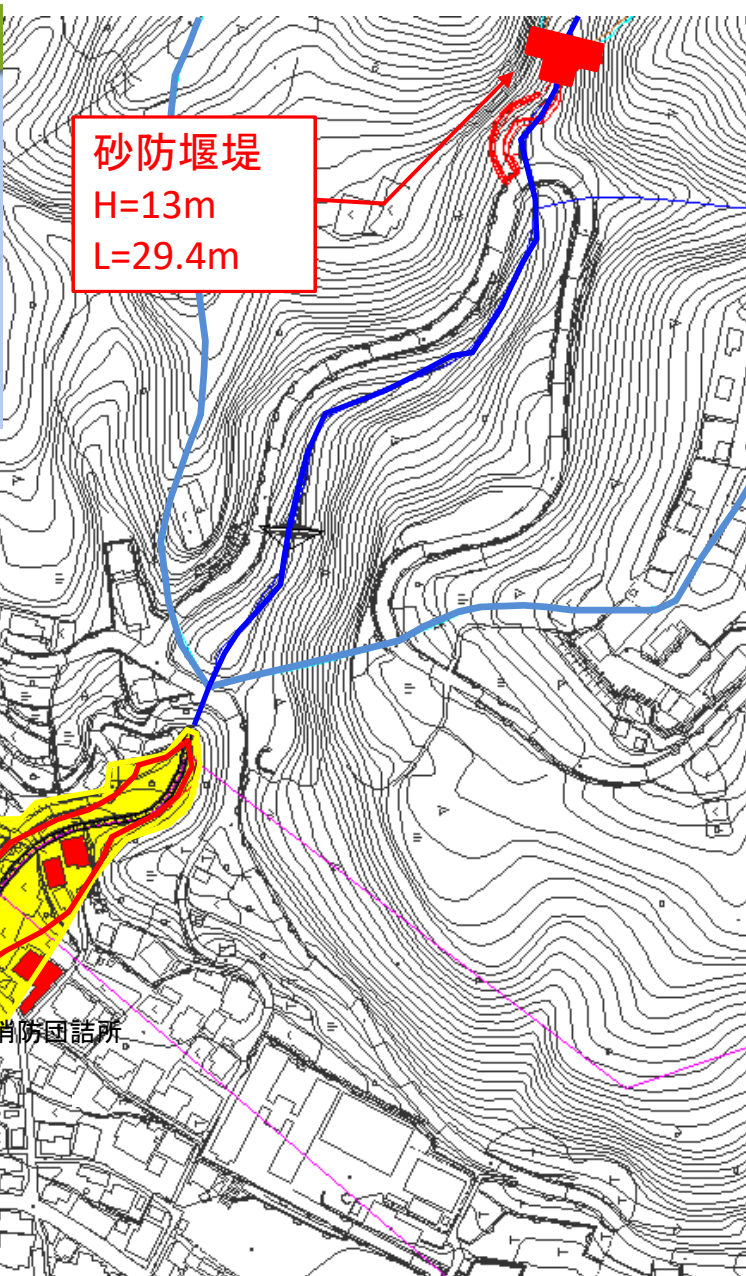


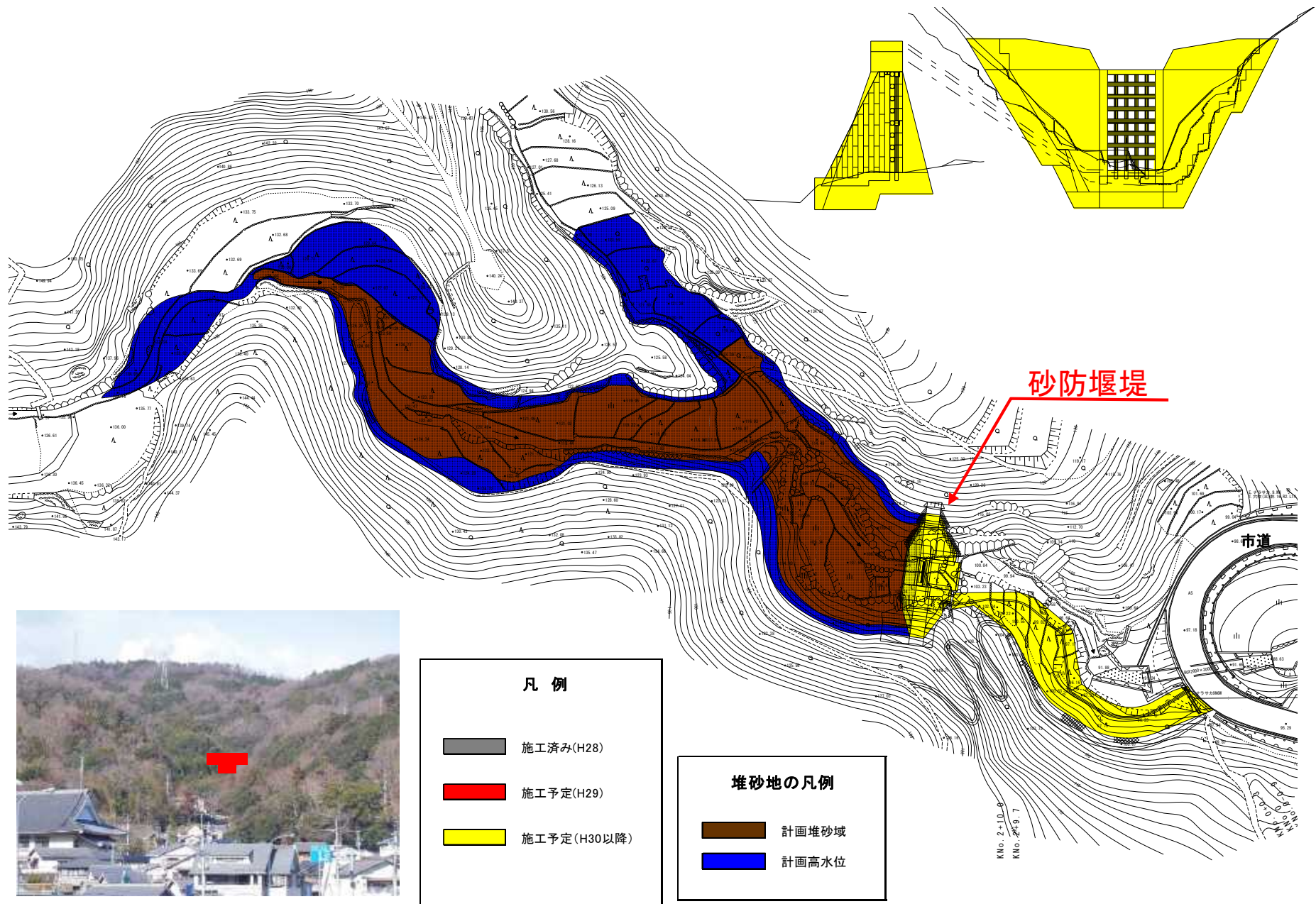
再評価【番号6】

小屋谷
通常砂防事業

1. 事業箇所



2. 事業計画



3. 費用対効果について

費用対効果分析

総費用

C = 1.8億円 (現在価値化後)

総便益

- 一般資産被害軽減
- 公共土木施設被害軽減
- 公益事業施設被害軽減
- 応急対策費用軽減
- 人的被害軽減
- (人的被害による)精神的被害軽減

B = 16.9億円 (現在価値化後)



$$\underline{\underline{B/C = 9.6}}$$

主な保全対象

保全対象

- 保全人家8戸
- 穴吹中学校
- 消防団詰所



穴吹中学校

他の対策

ソフト対策

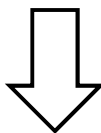
- 基礎調査の実施
- ハザードマップの作成



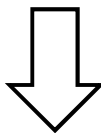
美馬市ハザードマップ

4. 事業の経緯及び結果について

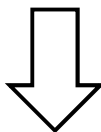
H27.4月 新規事業着手



H27.9月～ 現地測量を開始



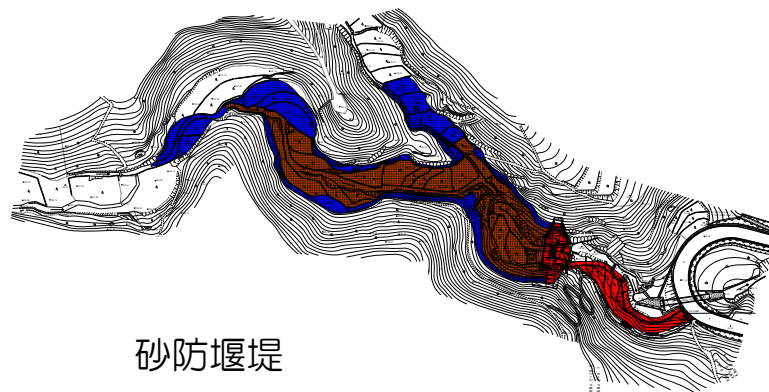
H28.5月 地元説明会を実施



H28.12月 用地境界立会が完了



事業継続



砂防堰堤



砂防堰堤位置